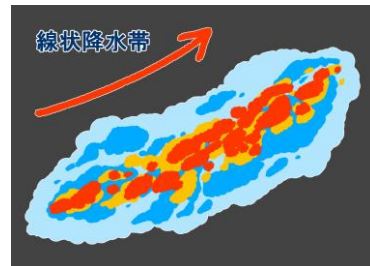




## 線状降水帯の半日前予測

昨日から、今日の午前中にかけて、活発な梅雨前線の影響で、気象台は熊本県に線状降水帯が発生する可能性があるとして、厳重な警戒を呼びかけていました。複数の雨雲レーダーを見ていて、通勤・通学中の大雨予想でしたが、一日は降らないことや、帯西周辺的安全性は担保できるだろうという判断の下、通常通りに学校を開くこととしました。脳裏には、九州北部豪雨や2020年の7月豪雨など、過去の線状降水帯が原因となった災害のことが浮かびましたが、近隣校とも朝から電話連絡で情報を共有しながら、安心メールで学校は通常通りに行く旨の配信をさせていただきました。その後も、九州北部地方にある梅雨前線によって雨足が強くなったり弱まったりしながら、気が休まることなく一日が過ぎていきました。梅雨の時期は、こういうことが続くと思いますが、あくまでも子供たちの安全性の担保を最優先に考えていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 雨の日の通学光景

梅雨の時期の光景で、年々気になっているのが、雨が降っているのに傘もささずに通学している子供たちが増えていることです。朝から私も旗振りをしながら、傘をさしていない子供たちに理由を尋ねると、「学



校に傘を忘れたから」という回答が一番多いのですが、中には「このくらいの雨は大丈夫」「帽子があります」と答える子供もいます。この傾向は男子に多いように感じます。雨が降れば濡れないように傘をさすのが当たり前、と大人は考えます。しかし、雨が降ることと、傘をさすということが直結しない子供もいます。私自身も子供の頃、大雨の中をずぶ濡れで帰り、靴の中に水が入ってぐちゃぐちゃになって、その非日常を楽しんでいたことを思い出します。何事も体験とは思いますが、体調を崩しては元も子もありません。そこで、体調を壊さないようにするためにも、この時期には天候についても話題にして、雨に日に濡れないようにするためにどうすればよいかを考えさせるといいと思います。そして、お子さんが傘を持って登校できているのか、傘は壊れていないかなどの点検をお願いします。因みに、昨日27日(木)の朝も雨が降っていましたが、私の前を傘もささずに登校している子供たちが10人弱はいました。緑門から登校する子供たちもいますので、学校全体の5%くらいはいるのではないかと推測しています。